

※ 今週のアウトルック(9/2~9/6)

先週は各通貨ペアともに小動きな展開が続いたのち、金曜日には少しだけ円安が進みました。

今週は、週末に米国雇用統計の発表が予定されています。9月の利下げがほぼ織り込み済みとされる中、10月以降の利下げ有無に注目が集まっています。米国雇用統計で予想外の悪い結果が出た場合には、ドル安がもう一段進む可能性もありそうです。

先週のドル円は、サポートラインの厚さを試すような展開が続いたのち、金曜日には146円台までドル高が進みました。

今週は、週末に予定されている米国雇用統計の結果が予想外に悪かった場合には、再び143円付近のサポートラインを破ろうと知る動きが、活発化するように思います。

ドル円の予想レンジは140円から150円です。

ユーロは、ユーロドルの1.12付近のレジスタンスをブレイクできなかったことで、1.105付近まで下落しています。

ユーロ円は狭いレンジ内での動きとなっています。

今週、米国雇用統計の結果が予想外に悪かった場合には、ユーロドルが再び1.12付近のレジスタンスをブレイクしようとする動きが、活発化するように思います。

ユーロ円の予想レンジは155円から167円です。

ポンドドルは1.325付近のレジスタンスをブレイクできず先週末にかけて下落しています。

今週は米国雇用統計の結果次第の動きとはなりそうですが、再び1.325をブレイクしようとする動きが活発化する可能性は、あるように思います。

ポンド円の予想レンジは185円から197円です。

市場の関心は10月以降の米国金利の動向に移ってきているようです。しばらくは経済指標の結果に大きく左右される動きとなりそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。